

全ては 子どもの笑顔の為に ～平和である未来へ～

【活動報告】

第2回 幼稚園代表者会開催

11月9日(水)第2回代表者会が開催されました。
教育支援課 橋本伸清先生をお招きし、「就学前の子供に向けて」というテーマでお話しいただきました。
子供にとって欠かすことのできない**食育・浴育・眠育**の重要性について語っていただきました。

食育とは・・・食を通して生きる力を育てること

- ・体をつくる→心身の健康を手に入れる
- ・エネルギーをつくる→意欲・元気のもと
- ・心をつくる→いのち・親への感謝を育てる

浴育とは・・・お風呂の時間に心を整えること

- ・汚れを洗い流し、さっぱりする感覚を身につける
- ・その日の出来事、想いを聴く時間
- ・マイナスの想いを洗い流す声掛け

眠育とは・・・心地よい眠りにつく取り組み

- ・寝る子は育つ→成長ホルモンの分泌を促す
- ・疲労回復→体のダメージを修復
- ・ストレス解消→心のダメージを修復

これから新生活がスタートし、子供達が安心して過ごせるよう「おいしいごはん・あたたかいお風呂・きもちよい布団」を用意し、子供の成長をサポートしていけたらいいなと思いました。



第2回 小中代表者会

11月18日(金)第2回小中代表者会が開催されました。
堤ヶ浦中学校長 井上久先生から「コロナ禍での子供達の心の変化とこれから」についてお話しいただきました。

① コロナ禍以前と比べて変わったと感じる子供達の生活様式と行動

【距離感】

- ・「距離を取りなさい」と言われ続けたことから、自然と友達とも距離を取るようになった
- ・部活動中、準備運動など人が集合する場面では、自然と距離を取ろうとする

【マスク】

- ・体育の授業でもマスクを外すことに抵抗があり、外せない子がいる
- ・合唱の時間や給食中でも外せない子がいる

② コロナ禍以前と比べて変わったと感じる子供達の内面的変化について (中学3年生と井上校長の面談より)

- ・入学してすぐ休校になり、友達を作るのに時間がかかった
- ・マスクをしている為、クラスメイトの顔が覚えられなかった
- ・分散登校では、前後左右の席は誰もいない状態で、誰ともしゃべれなかった

③ コロナ禍にあって、保護者が子供達に出来る支援

- ・学校での様子や話を聴いてあげることが子供の安心につながる

コロナ規制が多く、コロナ前と比べて不自由に思える学校生活ですが、子供達の様子を写真と併せて紹介していただき、生徒一人ひとりの明るい表情と、できないことよりできる事を考え、楽しんでいる姿を見て、安心しました。

◆ 編集後記 ◆

保護者の皆様には日頃よりPTA活動にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。
これからも子供達の未来を守るため、学校、保護者、地域がしっかりと繋がっていきましょう。一年間ありがとうございました。